

# グローバル社会で活躍することができる子どもの育成を目指して



愛知県  
豊橋市立  
八町小学校

英語が、小学3、4年生で外国語活動として、小学5、6年生で教科としてスタートする2020年度に、豊橋市立八町小学校「イマージョン教育コース」が開設されました。八町小学校を「特認校」とし、豊橋市内に居住する本コースへの入級を希望する児童を対象に、「英語のコミュニケーション力を自分の長所として生かし、グローバル社会で活躍することができる子どもの育成」に取り組んでいます。

## 1. 豊橋市の英語教育

本市では、平成18年度から、他の市町に先がけて、小学校3年生から中学校3年生までの7年間で生きた英語を身につけることを目標とした「英会話のできる豊橋っ子」の育成プランを実践し、英語教育の推進に取り組んできました。そして、これまでの成果を生かし、英語教育のさらなる発展的な取り組みとして、「イマージョン教育コース」を開設することとなりました。

## 2. 豊橋版イマージョン授業の実践

イマージョン教育コースの授業は、文部科学省教育課程特例校の認可を受け、学習指導要領の内容（国語、道徳以外）を、英語を用いて行うことを基本としています。

日本語表記の検定済教科書を使用するとともに、教科書の内容を英訳した補助プリントやデジタルコ

ンテンツによる視覚的支援などを用いながら、JTEとNET（Native English Teacher）が授業を進めます。イマージョン授業で使用する英語量や指導方法については、各学年の発達段階、目の前の子どもの実態に応じた形にします。

## 3. 入級児童の実際

イマージョン教育コースの募集定員は各学年20人です。帰国子女や外国籍児童の入級については、特別枠としてさらに5人程度受け入れています。

体育や音楽などの実技科目は、単元によって、通常のクラスとイマージョン教育コースのクラスが合同で行います。学校行事、集会、清掃などにおいても、同学年の児童と一緒に活動します。

英語力や文化的背景などの異なる児童が互いを尊重しながら学ぶ学校生活は、将来のグローバル社会の縮図になるものと考えます。こうした環境で育った児童が、10年後、20年後にグローバル社会でリーダーとなり、「ふるさと豊橋」を世界に発信する役を担ってくれることを願っています。



「八町小学校イマージョン教育」概要ポスター

子供の頃から、スイミングスクールに少年野球、サッカーもやっていました。好きだったし、いろんなことができたんです。小学校時代は野球一本に絞って続けていましたが、キャプテンに抜擢されたのが、自分の中の転機にもなりました。前を向いて、前に出ていける人間になったと思います。

中学校で陸上部の顧問の先生と出会って、やり投げと砲丸投げを始めました。スポ根の時代で、喜怒哀楽をすごく出してくださる先生でした。いいことはいい、悪いことは悪いと、自分を律してもらえたと思います。陸上って個人競技なので、やればやっただけ、逆にやらなければやらなければ自分で跳ね返ってくるんです。何のために練習するのかわからなくなるときがある。何のためかが一番わかるのが、試合で負けたときなんです。もつとやっとならばよかったと思っても、もう帰ってこない。その繰り返しです。僕は指導者の先生に認めてもらって、種子から芽が出て、育ててもらいました。種子のときに埋もれたまま、雑草として枯れてしまう子たちが大半なんです。

今、芸能界で頑張れば頑張っただけ、誰かに拍手をもらえるし、誰かに評価してもらえないのも、すべてスポーツで教えてもらったことだと思っています。

僕は、先生には本当に感謝しかないんですが、今は先生が一番勉強しなきゃいけないときではないかと思っています。講演で学校に行くと、座っている先生た

ちに「立つてもらっていいですか」と言っていて、全校生徒の前で先生を叱る、というのをよくやります。先生たちだって特別に偉いわけじゃないんだ、教員免許を持つていけば先生になれるし、僕だってそうだったんだ、って。この中に、自信を持って教壇に立っている先生、どれくらいいますか？手をあげてください、と言うんです。先生たちが全員手を上げてくれなかったら、生徒たちが一番不安になります。先生になったなら、自信を持って、さらなる高みを目指して勉強し続けていってほしいと思いますね。

僕は若い頃、甲冑の鎧をいっぱいまとってました。どうやってキャラクターを育てていくか、のような小さなことで悩み続けていました。結婚して子供が生まれて、ライフスタイルが変わって、いろいろなことを教えてもらいました。子供なんて愛おしくて、いつだって会いたくて仕方ないんですよ。自分がいろいろなことチャレンジできるって勇気をもらえたときから、一枚ずつ鎧を剥いでいって、今が一番、等身大の自分で、芸能界で勝負できていると思います。

昨年、マスターズ陸上に出場しました。やっぱり日本一になりました。次はワールドマスターズにチャレンジするのが目標ですけど、気持ちにひと区切りついて、心も体ももう一回作り直さないといけないので、時間がかかるなあ。それから、習いに行っただけがきっかけで、今スケボーにもハマっているんですよ。46歳になってもまだまだ挑戦できることってたくさんあるんだ、挑戦し続けていたら発見できることはたくさんあるんだって思っているんです。

散

歩

道

エッセイ

## 【挑戦し続けることで発見できることはたくさんある】



照英

(俳優・タレント)

しょうえい 1974年埼玉県生まれ。少年野球チームを経て、中高では陸上部で活躍する。東海大学体育学部卒。学生時代はやり投げの選手として1996年の全日本学生選手権およびひろしま国体で準優勝。卒業後はモデルに転身。ジョルジオ・アルマーニのコレクション出演を果たす。1998年俳優として芸能界デビューし、「水戸黄門」(TBS系列)やNHK大河ドラマ「新選組」ほかに出演。近年はタレントのほか、司会・デザイナーなどにも活動を広げている。中高の保健体育教員免許も持つ。趣味は釣り。マスターズ陸上2019にやり投げで出場し日本一となる。2021年に日本で開催予定のワールドマスターズゲームにも出場準備中。